

# はにい

## 展開図

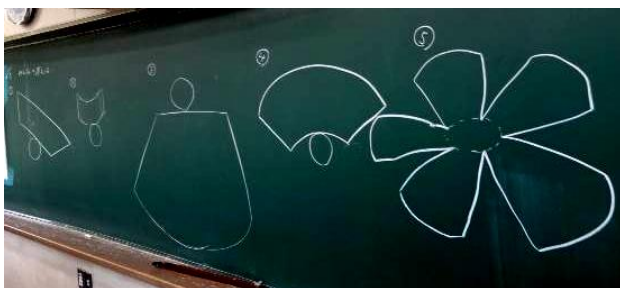
平成25年5月10日

紙コップの展開図を考えよう。

「上の丸と下の丸の大きさが違うから、半径が違うよね。」  
「半径は違うけど、ここの角度は・・・、あれ？わかんなくなってきた。」

「なんなんだよこれ！」

そこに、各グループを見て回っていた先生がやってきました。  
「長さとはもかく、だいたいの図を描いてごらん。」  
視覚化する。これは対話を深めるコツですね。



数分後、まず教師が4人を指名し、だいたいの形を黒板に描きました。

「それでは、①～④以外の形の人は、いるかな。はい、コウジさん。」

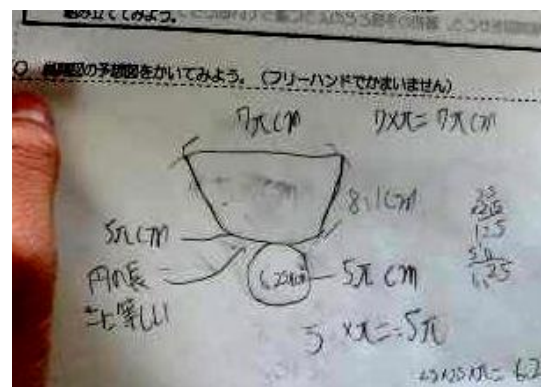
コウジさんが、開いた花のような展開図を描くと、「おー」というどよめきが。

教室の空気が動いています。

さて、「①～④以外の形の人はいるかな」と言いながら、そのときすでに教師はコウジさんを見て目で促していました。教師と目が合ったコウジさんは、すぐに挙手して前に出ました。

教師は、コウジさんがこれを描いていたことを知っていたのです。まず①～④の図を発表させて、その後にコウジさんに発表させることによって、教室に驚きを作り出しました。

さらに言えば、①～④の図も、教師が数分間の間に全員の図を把握し、その中から4通りの違う考えを選んで指名していたのですね。



教師の頭の中には、40人の思考の展開図が広がっています。

かながわ元気な学校づくり通信 『はにい』とは、  
学校が元気になるように・・・

先生の仕事を受けとる

学校に携わる大人たちがしていることを受けとる

そして、もちろん子どもたちの育ちを受けとる

そんな、コミュニケーションツールです。 みんなで語り合しましょう。

専用メールアドレス： inochi4027@pref.kanagawa.jp